

～家庭においても「サステイナブルを意識した取り組み」が必要だと思う方が92.2%～

2021年 我が家のサステイナブル調査

株式会社LIXIL住宅研究所では、全国の既婚者の女性を対象に2021年に我が家で行ったサステイナブルへの取り組みに関する調査を実施しましたのでご報告します。有効回答:537、調査時期:2021年11月25日から12月2日です。

■調査結果について

2021年に我が家で行ったサステイナブルな取り組みは、「レジ袋をもらわないで、マイバッグを持参することを徹底した」が最も多く、7割以上に達しています。続いて、「シャンプーや洗剤などは、ボトルを買わずに詰め替え用を選ぶようにした」64.8%、「ごみの分別を徹底し、できるかぎり資源ごみ(=リサイクル)に回すようにした」「フードロスをするだけなくすように食材を使い切るようにした」がともに5割以上となっており、多くの家庭で様々なサステイナブルな取り組みを進めていることが判明しました。

また、家庭においても「サステイナブルを意識した取り組み」が必要だと思う方が92.2%と意識が高く、家庭で「サステイナブルを意識した取り組み」を進めている理由としては、「地球環境を守るため」「地球温暖化を防ぐため」が5割以上となっています。さらに、来年、家庭でやってみたい「サステイナブルへの取り組み」としては、「ゴミになるものの少ない物を購入する」(53歳・兵庫県)、「スーパーでは賞味期限の短い物から買う」(59歳・群馬県)、「コンポストを利用し、生ゴミを堆肥としてリユースしたい」(46歳・群馬県)などがありました。

●2021年 我が家のサステイナブルへの取り組み BEST10

1	レジ袋をもらわないで、マイバッグを持参することを徹底した	72.3%
2	シャンプーや洗剤などは、ボトルを買わずに詰め替え用を選ぶようにした	64.8%
3	ごみの分別を徹底し、できるかぎり資源ごみ(=リサイクル)に回すようにした	53.6%
4	フードロスをできるだけなくすように食材を使い切るようにした	52.3%
5	電源をこまめに切る、コンセントから抜く、エアコンの設定温度を見直すなど節電に努めた	44.9%
6	食品トレーや牛乳パックなどはスーパーや自治体のリサイクルに回すようにした	42.5%
7	使えるものは直して、長く使うように心がけた(=物を大切に使うようにした)	40.2%
8	家庭での手洗い・洗面、洗い物の際に、節水に努めた	39.7%
9	本当に必要なもの以外の購入は控えた(=無駄な買い物をしないようにした)	38.2%
10	不用品(洋服や家具など)はできるかぎり再利用(=リユース)に回すようにした	34.5%

▶ 家庭においても「サステイナブルを意識した取り組み」が必要だと思う方が92.2%

- ▶ 来年、あなたの家庭で新たに行ってみたい「サステイナブルを意識した取り組み」(フリーアンサーから)
- ・ゴミになるものの少ない物を購入する(53歳・兵庫県)、過剰に包装されていない商品を選びたい(55歳・東京都)
 - ・スーパーでは賞味期限の短い物から買う(59歳・群馬県)、環境にいい商品を選んで購入する(37歳・大阪府)
 - ・コンポストを利用し、生ゴミを堆肥としてリユースしたい(46歳・群馬県)
 - ・新しい家では、太陽光パネルを設置し、断熱効果の高い家にし、省エネで暮らせるよう計画(34歳・静岡県)

▶ 家庭で「サステイナブルを意識した取り組み」を進めている理由 BEST3

1	地球環境を守るため	53.9%
2	地球温暖化を防ぐため	51.5%
3	ゴミ・廃棄物を削減するため	49.4%

報道関係者
お問合せ先

(株)LIXIL住宅研究所 マーケティング部
千明 和彦(ちぎら かずひこ)
TEL:03-5626-8251 携帯:070-5583-0039
MAIL:kazuhiko.chigira@lixil.com

株式会社 LIXIL 住宅研究所
本社:東京都江東区 代表取締役社長:加嶋 伸彦
事業内容:アイフルホーム、フィアスホーム、GLホーム
国内最大の住宅FCを展開

■調査結果(詳細)

Q1.今年、あなたのご家庭で行った「サステナブルを意識した取り組み」をいくつかもお選びください。 N=537 (全体)

		実数	比率
1	レジ袋をもらわないで、マイバッグを持参することを徹底した	388	72.3%
2	シャンプーや洗剤などは、ボトルを買わずに詰め替え用を選ぶようにした	348	64.8%
3	ごみの分別を徹底し、できるかぎり資源ごみ(=リサイクル)に回すようにした	288	53.6%
4	フードロスをしてできるだけなくすように食材を使い切るようにした	281	52.3%
5	電源をこまめに切る、コンセントから抜く、エアコンの設定温度を見直すなど節電に努めた	241	44.9%
6	食品トレーや牛乳パックなどはスーパーや自治体のリサイクルに回すようにした	228	42.5%
7	使えるものは直して、長く使うように心がけた(=物を大切に使うようにした)	216	40.2%
8	家庭での手洗い・洗面、洗い物の際、節水に努めた	213	39.7%
9	本当に必要なもの以外の購入は控えた(=無駄な買い物をしなかった)	205	38.2%
10	不用品(洋服や家具など)はできるかぎり再利用(=リユース)に回すようにした	185	34.5%
11	ペットボトルや缶の飲料をできるだけ買わずに、マイボトルやリターナル可能な瓶を使用した	153	28.5%
12	ゴミの量をできるかぎり少なくする工夫を行った(=ゴミの減量に取り組んだ)	149	27.7%
13	冷房効率・暖房効率を高めるための工夫(=住まいの断熱など)を行った	137	25.5%
14	交通機関をなるべく利用せずに、自転車や徒歩などを行った	96	17.9%
15	プラスチックやペットボトルなど石油由来の商品の購入・使用をできるかぎり控えた	78	14.5%
16	商品を購入する際に、環境に配慮した商品を選択的に選ぶようにした	71	13.2%
17	生ゴミは自宅でコンポストして堆肥として活用した	47	8.8%
18	自然エネルギーの活用を目的に、太陽光発電システムを設置した	47	8.8%
19	取り組んだことは無い	19	3.5%

(年代別) ※塗りつぶした項目は過半数以上が実施

		20代	30代	40代	50代	60代以上
1	レジ袋をもらわないで、マイバッグを持参することを徹底した	64.5%	61.0%	69.9%	78.9%	85.8%
2	シャンプーや洗剤などは、ボトルを買わずに詰め替え用を選ぶようにした	62.6%	52.4%	62.1%	74.3%	71.7%
3	ごみの分別を徹底し、できるかぎり資源ごみ(=リサイクル)に回すようにした	31.8%	36.2%	60.2%	61.5%	77.0%
4	フードロスをしてできるだけなくすように食材を使い切るようにした	43.9%	41.0%	51.5%	55.0%	69.0%
5	電源をこまめに切る、コンセントから抜く、エアコンの設定温度を見直すなど節電に努めた	40.2%	33.3%	43.7%	47.7%	58.4%
6	食品トレーや牛乳パックなどはスーパーや自治体のリサイクルに回すようにした	23.4%	29.5%	46.6%	54.1%	57.5%
7	使えるものは直して、長く使うように心がけた(=物を大切に使うようにした)	31.8%	27.6%	40.8%	41.3%	58.4%
8	家庭での手洗い・洗面、洗い物の際、節水に努めた	39.3%	30.5%	34.0%	40.4%	53.1%
9	本当に必要なもの以外の購入は控えた(=無駄な買い物をしなかった)	33.6%	25.7%	38.8%	37.6%	54.0%
10	不用品(洋服や家具など)はできるかぎり再利用(=リユース)に回すようにした	30.8%	33.3%	29.1%	44.0%	34.5%
11	ペットボトルや缶の飲料をできるだけ買わずにマイボトルやリターナル可能な瓶を使用した	27.1%	20.0%	28.2%	32.1%	34.5%
12	ゴミの量をできるかぎり少なくする工夫を行った(=ゴミの減量に取り組んだ)	20.6%	20.0%	25.2%	33.0%	38.9%
13	冷房効率・暖房効率を高めるための工夫(=住まいの断熱など)を行った	16.8%	21.9%	25.2%	26.6%	36.3%
14	交通機関をなるべく利用せずに、自転車や徒歩などを行った	11.2%	13.3%	22.3%	22.0%	20.4%
15	プラスチックやペットボトルなど石油由来の商品の購入・使用をできるかぎり控えた	7.5%	9.5%	12.6%	18.3%	23.9%
16	商品を購入する際に、環境に配慮した商品を選択的に選ぶようにした	9.3%	7.6%	15.5%	13.8%	19.5%
17	生ゴミは自宅でコンポストして堆肥として活用した	3.7%	13.3%	5.8%	9.2%	11.5%
18	自然エネルギーの活用を目的に、太陽光発電システムを設置した	7.5%	9.5%	7.8%	9.2%	9.7%
19	取り組んだことは無い	6.5%	6.7%	2.9%	0.9%	0.9%

▶ 本質問の選択肢につきましては、今年、あなたのご家庭で行った「サステナブルを意識した取り組み」について 1,000名の既婚者の女性を対象にしたフリーアンサーによる予備調査の結果をもとに作成しています。

Q2.家庭においても「サステイナブルを意識した取り組み」が必要だと思いますか？

(全体)

	実数	比率
とても必要だと思う	203	37.8%
どちらかという必要だと思う	292	54.4%
あまり必要ではないと思う	31	5.8%
全く必要では無いと思う	11	2.0%
計	537	100.0%

(年代別)

	必要	不要
女性 20～29 歳	89.8%	10.3%
女性 30～39 歳	86.6%	13.4%
女性 40～49 歳	90.3%	9.7%
女性 50～59 歳	96.3%	3.7%
女性 60 歳以上	97.4%	2.7%
計	92.2%	7.8%

Q3. 来年、あなたの家庭で新たに行ってみたい「サステイナブルを意識した取り組み」を記載してください

※フリーアンサーからの抜粋

- ・ゴミになるものの少ない物を購入する(53 歳・兵庫県)
- ・スーパーでは賞味期限の短い物から買う(59 歳・群馬県)
- ・家のなかで可能な限り太陽光・熱および自然冷房を取り入れて冷暖房機器の利用を最大限減らす(78 歳・埼玉県)
- ・電気コンセントから抜き待機電力をも節約する(49 歳・大阪府)
- ・着なくなった衣類などを捨てないで、雑巾にしたりする(54 歳・富山県)
- ・新しい家では、太陽光パネルを設置し、断熱効果の高い家にし、省エネで暮らせるよう計画(34 歳・静岡県)
- ・環境によい商品を選んで購入する(37 歳・大阪府)
- ・過剰に包装されていない商品を選びたい(55 歳・東京都)
- ・コンポストを利用し、生ゴミを堆肥としてリユースしたい(46 歳・群馬県)
- ・エレベーターを使わず階段を使う(43 歳・兵庫県)
- ・食べ終わったフルーツの種を土や水に入れて、育てまた食べるか観葉植物かにしたい(27 歳・東京都)
- ・今までの取り組みを継続したい(40 歳・東京都)

Q4.家庭で「サステイナブルを意識した取り組み」を進めている理由をいくつかもお選びください N=518

※Q1 で「取り組んだことは無い」の回答者を除く、518 名に質問

(全体)

	実数	比率
地球環境を守るため	279	53.9%
地球温暖化を防ぐため	267	51.5%
ゴミ・廃棄物を削減するため	256	49.4%
資源の無駄使いをしないため(資源を有効利用するため)	246	47.5%
次世代(子どもたち)のため	223	43.1%
家庭での経費削減のため(家庭における省エネのため)	210	40.5%
現状のままでは、今の生活を維持できない社会になってしまうため	152	29.3%
動物・植物など地球に暮らす生物を守るため	148	28.6%
「サステイナブルを意識した取り組み」は、皆で行う必要があるため	147	28.4%
「サステイナブルな取り組み」は現代人の務めのため	99	19.1%
世界的に貧困をなくすため	64	12.4%
社会生活をする上で仕方がないため	41	7.9%
その他	4	0.8%
わからない	19	3.7%

(年代別) ※塗りつぶした項目がTOP1

	20代	30代	40代	50代	60代以上
地球環境を守るため	49.0%	37.8%	50.0%	62.0%	67.9%
地球温暖化を防ぐため	43.0%	35.7%	50.0%	59.3%	67.0%
ゴミ・廃棄物を削減するため	38.0%	40.8%	48.0%	55.6%	62.5%
資源の無駄使いをしないため(資源を有効利用するため)	35.0%	39.8%	42.0%	54.6%	63.4%
次世代(子どもたち)のため	45.0%	40.8%	34.0%	40.7%	53.6%
家庭での経費削減のため(家庭における省エネのため)	36.0%	36.7%	37.0%	44.4%	47.3%
現状のままでは、今の生活を維持できない社会になってしまうため	23.0%	18.4%	31.0%	34.3%	38.4%
動物・植物など地球に暮らす生物を守るため	25.0%	27.6%	27.0%	27.8%	34.8%
「サステナブルを意識した取り組み」は、皆で行う必要があるため	20.0%	27.6%	20.0%	32.4%	40.2%
「サステナブルな取り組み」は現代人の務めのため	16.0%	14.3%	19.0%	17.6%	27.7%
世界的に貧困をなくすため	12.0%	13.3%	12.0%	10.2%	14.3%
社会生活をする上で仕方がないため	9.0%	4.1%	10.0%	8.3%	8.0%
その他	1.0%	1.0%	0.0%	0.9%	0.9%
わからない	5.0%	6.1%	4.0%	1.9%	1.8%

■調査概要

- ・有効回答:537
 - ・調査対象:女性の既婚者
- 【年齢】

	実数	比率
20代	107	19.9%
30代	105	19.6%
40代	103	19.2%
50代	109	20.3%
60代以上	113	21.0%
全体	537	100.0%

・調査時期:2021年11月25日から12月2日

・調査地域:全国

【地域】

	北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方	全体
実数	28	32	208	83	105	27	11	43	537
比率	5.2%	6.0%	38.7%	15.5%	19.6%	5.0%	2.0%	8.0%	100.0%

・調査方法:WEB調査

◆当社概要

会社名 株式会社LIXIL住宅研究所
 代表者 代表取締役社長 加嶋 伸彦
 本社所在地 〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1
 URL 【株式会社LIXIL住宅研究所】 <https://www.lixil-jk.co.jp/>



◆LIXIL住宅研究所 概要

住宅及びビル建材・設備機器の製造販売・住宅フランチャイズチェーンの運営など、総合的な住生活関連事業を展開するLIXILの一員です。

住宅フランチャイズチェーン事業の運営を担う企業として、アイフルホーム、フィアスホーム、GLホームの3ブランドを展開し、国内最大級の住宅フランチャイズチェーン事業を展開しています。